

歯科用CTについて

DH. 太田 祥子

当院は8月から最先端の歯科用CTを導入しました。

このCT装置は、歯やあごの骨を立体的に細かく診断できるだけでなく、従来の歯科用CTではできなかった骨質(骨の固さ)の診断を正確にすることができる最先端の装置です。

今までのレントゲンでは、2次元の平面画像しか得られませんでした。が、歯科用CTを用いると、3次元の立体画像をみることができます。これにより、平面ではわからなかった、歯やあごの骨の詳細な立体構造や神経の位置などを精度高く把握することができます。より適切な診断、治療が可能になります。

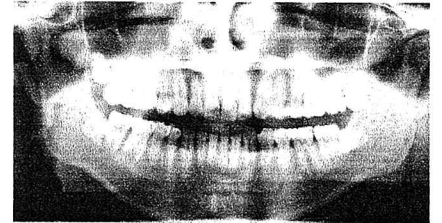
- ・ 歯の根っこの治療
- ・ 親知らずの治療
- ・ インプラント など、
- ・ 歯周病の治療
- ・ 顎関節症の治療

さまざまな治療で有効に活用することができます。

CT撮影というと大掛かりな撮影を想像されるかもしれませんが、時間は20秒程度で完了します。もちろん痛みもありません。

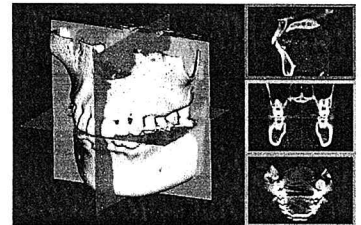
今後、患者さんの症状や、治療の内容により活用していきます。

従来のパノラマレントゲン



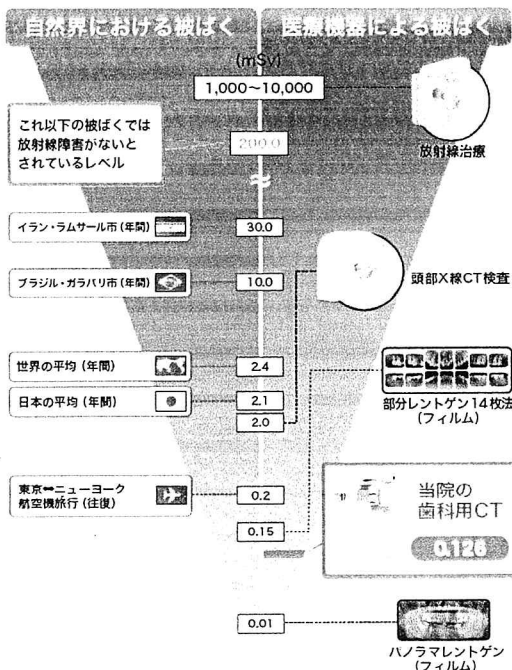
2次元の平面画像のみ

歯科用CT



立体で把握

被ばくについて



心して、ご撮影いただけます。
 歯科用CT装置の15分の1程度の被ばくで、安心してご撮影いただけます。
 CT撮影には被ばくが伴いますが、当院の歯科用CTは低被ばくを実現した装置です。

患者様に優しい低被ばく
 DH.丸山 初美

ふれあいの中で

今年記録的な猛暑でしたが、今やUV対策として一般的になった日傘も実はUVカット加工の寿命が、2~3年。長く愛用する為にもシーズン後はUVカットスプレーをし、日陰で十分乾燥させ、太陽や蛍光灯の当たらない場所に保管しましょう。

DH.小田 世貴子

編集後記

ご不明な点のある方は、気軽にお声かけ下さい。

DH.志塚 純奈